

平成29年度 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、授業及び研究に支障がない限り、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
 - (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
 - (3) 履修できる科目は、別紙開設科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
 - (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力が必要である。

2. 募集人員 若干名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
(同一科目の単位再加算はしない。)

5. 在籍期間 1年間 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ	
② 受付期間	平成28年11月24日(木)～平成28年12月14日(水) ※郵便局消印がこの期間内のもの。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙。
	(2) 最終学校の卒業証明書	本学部出身者は不要。
	※(3) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が違う場合のみ提出。
	(4) 健康診断書	本学部所定用紙又は医療機関が発行する診断書で、所定の事項が記載されているもの。
	(5) 写真1枚	受付期間前3ヶ月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)を願書所定欄に貼ること。
	(6) 小論文	履修希望科目ごとに研究の目的等を2,000字以内にまとめ、科目名、氏名を記載する。
	(7) 入学試験検定料振込金 受付証明書提出用紙	検定料振込後に銀行から返却される「C票」を貼付して提出(次項「7」参照)。
	(8) 返信用封筒	角型2号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、140円切手を貼ったもの。
④ 出願手続	提出期限内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係 </div>	
⑤ 面接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に各自集合のこと。	

7. 検定料の振込方法について

検定料：9,800円

この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、
平成28年11月24日(木)から平成28年12月14日(水)までに振り込むこと。

取扱金融機関	都市銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行(郵便局) ※金融公庫では振り込みできない。 ※ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能。 詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせのこと。
振込手数料	振込手数料は各自負担のこと。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料。
<p>< 注意 ></p> <p>① ATMでの振り込みはできない。金融機関窓口で納入すること。</p> <p>② 振り込みの際、返却されたB票、C票のうち、C票(氏名記入、収納印のあるもの)を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」(15頁)に貼付して提出。 (B票は本人控え)</p>	

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、3月中に大学から文書で通知する。

入学手続き	4月上旬予定		
納入金	入学手続時	入学料	28,200円 (入学手続き後は、入学料の返還はしない)
	入学後	授業料	1単位につき14,800円 (例;1科目2単位の場合/14,800円×2=29,600円)
<p>※ その他の提出書類等については、大学からの通知文で指示する。</p> <p>※ 科目によっては、曜日・時限・テーマ等が変更されることがあるので、必ず履修科目を再確認すること。</p>			

9. 注意事項

- ・願書受付後はいかなる理由があっても書類の変更・返還はしない。
また次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- ①検定料を振り込み出願したが、受理されなかった場合
- ②検定料を振り込んだが、出願に必要な書類を提出しなかった場合
- ③検定料を誤って二重に振り込んだ場合

<上記①～③に該当した場合の返還請求の方法>

本学所定の用紙「検定料返還請求額(研究生・科目等履修生用)」を本学入試情報サイトよりダウンロードし、必要事項を記入、「C票」を添付して、
東京藝術大学戦略企画課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送すること。

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた金額になる。

※検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月を要する。

- ・この募集要項発行後に納入金額が変更された場合は、変更後の額による。
- ・平成29年度の時間割編成に伴い、科目によっては時間割等が変更される場合があるので、
手続時に確認すること。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、
これを取り消すことができる。ただし、**納入済みの授業料等の返還はしない。**
- ・外国人については、履修が認められても「留学」の在留資格には該当しないので注意すること。
- ・学生旅客運賃割引制度は適用されない。
- ・成績証明書の発行は申請のあった場合のみとし、前期・後期ともに成績発表日以降とする。
(前期:9月下旬、後期:3月下旬)

以 上

【お問合せ】
TEL 050-5525-2124
東京藝術大学 美術学部教務係

平成29年度 東京藝術大学 美術学部
科目等履修生(一般) 願 書

フリガナ						男・女
氏 名						
生年月日	昭和 平成	年	月	日	(満 歳)	
本籍地 (県名・国名)						
現住所 (連絡先)	〒 ー					
携帯電話等の連絡先			e-mail			
略 歴						
★本学出身者 在学時学生番号	学部			修士		
学 歴 (高校卒業から)	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
職 歴	年 月					
	年 月					
	年 月					
賞 罰						

【写真貼付】
・タテ4cm×ヨコ3cm
・脱帽上半身正面向
・3ヶ月以内に撮影したものを

履修希望科目							※大学記入欄
科目名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位	備考	判 定
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						
	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期						

※ 該当する期間に☑を記入してください。

以上の記載事項に相違ありません。

平成 年 月 日 氏 名 :

㊞

健康診断書

※出願前, 3ヶ月以内に証明したもの

氏名: _____

視力		聴力		結核 (胸部X線検査)	その他の疾病及び異常
左	右	左	右		

診断の結果, 上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

住所(所在地)

医療機関名

医 師 名 (印)

★本学卒業者のうち平成28年4月に本学の定期健康診断を受けたものは, 診断書の提出は不要。

..... (以下 大学記入)

【 所 見 】

教員名 (印)
教員名 (印)
教員名 (印)

平成29年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋建築史Ⅰ	担当教員	野口 昌夫	学期	前期
<p>古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。</p> <p>一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。</p> <p>(注)「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

科目名	西洋建築史Ⅱ	担当教員	野口 昌夫	学期	後期
<p>古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネッサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。</p> <p>一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。</p> <p>(注)「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

科目名	日本・東洋建築史Ⅰ	担当教員	光井 渉	学期	前期
<p>江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。</p> <p>◆ 各回の内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の建築(ガイダンス)／○建築の誕生(原始住居)／○美意識の誕生(神社建築) ○技術と空間(飛鳥奈良時代の寺院建築1)／○空間の大型化と建築群(飛鳥奈良時代の寺院建築2) ○都市建築の理念(平城京と平安京)／○都市住宅の原形(御所と寝殿造)／○和様の感覚(平安時代の建築) ○災害と復興(重源と大仏様)／○禅宗の建築(禅宗様)／○中世的世界の建築(密教建築) <p>(注)「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

科目名	日本・東洋建築史Ⅱ	担当教員	光井 渉	学期	後期
<p>江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。</p> <p>◆ 各回の内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舗設から部屋へ(中世住宅)／○もてなしの空間(座敷飾りと書院造)／○綺麗と数寄(茶室・数寄屋) ○戦乱と惣構(中世京都)／○権力の象徴(城郭建築)／○現代都市の誕生(城下町) ○町に暮らす(町並と町家)／○村に暮らす(農村と農家)／○専用住居の誕生(武家住宅) ○賑わいの空間(近世寺社境内) <p>(注)「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

平成29年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	美学史概説Ⅰ	担当教員	川瀬 智之	学期	前期
<p>この授業では、西洋の美学の歴史を、古代ギリシャから近現代のドイツやフランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、特に近現代の美術作品との関連についても論じていく。それによって、西洋の古代以来の美学思想がいかに芸術の制作や鑑賞に対して大きな影響を及ぼしてきたかを理解することができる。より具体的には、プラトン、アリストテレス、プロティノス、レッシング、カント、ヘーゲル、ニーチェ、ボードレーール、ベルクソン、ハイデッガーらの思想を扱う。</p>					

科目名	美学史概説Ⅱ	担当教員	川瀬 智之	学期	後期
<p>この授業では、西洋の美学の歴史を、近代から現代にかけてのドイツやフランスの代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、美術作品との関連についても論じていく。それによって、西洋の美学思想がいかに芸術の制作や鑑賞に大きくかかわっているかを理解することができる。より具体的には、ベンヤミン、マリタン、メルロ＝ポンティ、マルティネ、アンリらの芸術論について論じる。</p>					

科目名	日本美術史特講Ⅰ	担当教員	佐藤 道信	学期	前期
<p>“グローバル” 日本美術論</p> <p>きしむグローバリズムが、ナショナリズムやローカリズムの反動化を生みつつある現在、「グローバル」の妥当性までもが揺らぎつつある。日本美術の歴史と現在を、世界動向の中に捉えることは、かなわない夢なのだろうか。ここではオムニバス形式のテーマ設定で、最新の研究も紹介しながら、世界動向と日本美術を結ぶヴィジョンを提起してみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“孤立した日本文明” <ul style="list-style-type: none"> 人よりモノ、外交より貿易中心の外国文化理解 ・東アジア美術史は可能か ・岩彩画—古典というアイデンティティ— ・世界観の再編と歴史観の再編 ・宇宙観の歴史—宇宙、神、人間の認識論 ・人間像—越境と非越境 ・オリジナルと複製—機械と人間 					

科目名	日本美術史特講Ⅱ	担当教員	佐藤 道信	学期	後期
<p>“グローバル” 日本美術論</p> <p>きしむグローバリズムが、ナショナリズムやローカリズムの反動化を生みつつある現在、「グローバル」の妥当性までもが揺らぎつつある。日本美術の歴史と現在を、世界動向の中に捉えることは、かなわない夢なのだろうか。ここではオムニバス形式のテーマ設定で、最新の研究も紹介しながら、世界動向と日本美術を結ぶヴィジョンを提起してみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋画の近世と近代 ・脱亜入欧のハイブリッド—「日本画」「西洋画」、過去・現在 ・世界をまたいだ暁斎評価 ・進化論としての悲母観音図 ・彫刻の近代—西洋・日本、公と私 ・近代に図案がなぜ重要だったのか ・ジャポニスムと園芸振興 					

平成29年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋美術史概説Ⅰ	担当教員	田邊 幹之助	学期	前期
西洋美術史の前半、特に中世の美術史を5世紀からの作品を中心に理解する。					

科目名	西洋美術史概説Ⅲ	担当教員	佐藤 直樹	学期	後期
15世紀以降の北方美術を中心に19世紀までの美術を取り上げる。 毎回、一人の作家に焦点を合わせて造形的特質を浮き彫りにする。					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学期	前期
<p>人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。</p> <p>美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。</p> <p>(注) 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。</p>					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学期	後期
<p>人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。</p> <p>美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。</p> <p>(注) 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。</p>					

科目名	デザイン概説Ⅰ	担当教員	藤崎 圭一郎	学期	前期
<p>デザインとは何かを考える。デザインの基本的な定義から、21世紀になって拡張するデザインの定義をさまざまな事例をまじえて紹介する。</p> <p>(注) 「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

科目名	デザイン概説Ⅱ	担当教員	藤崎 圭一郎	学期	後期
<p>近代とは何かをデザインを通して考える。現代の事例から歴史を遡るようにして、近現代デザイン史の概略を語る。</p> <p>デザイン概説Ⅰよりも歴史的事例を多く取り上げる。</p> <p>(注) 「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」を併せて履修すること</p>					

対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
西洋建築史Ⅰ	前期	野口 昌夫	月	3	2	1月13日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-411 室
西洋建築史Ⅱ	後期	野口 昌夫	月	3	2	1月13日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-411 室
日本・東洋建築史Ⅰ	前期	光井 渉	金	3	2	1月13日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
日本・東洋建築史Ⅱ	後期	光井 渉	金	3	2	1月13日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
美学史概説Ⅰ	前期	川瀬 智之	金	4	2	1月6日(金) 14:00～	川瀬研究室
							中央棟3階
美学史概説Ⅱ	後期	川瀬 智之	金	4	2	1月6日(金) 14:00～	川瀬研究室
							中央棟3階
日本美術史特講Ⅰ	前期	佐藤 道信	火	3	2	1月5日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階(309)
日本美術史特講Ⅱ	後期	佐藤 道信	火	3	2	1月5日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階(309)
西洋美術史概説Ⅰ	前期	田邊 幹之助	火	3	2	1月10日(火) 18:00～	芸術学科事務室
							中央棟3階
西洋美術史概説Ⅲ	後期	佐藤 直樹	火	3	2	1月10日(火) 18:00～	芸術学科事務室
							中央棟3階

対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期 間	担 当 教 員	曜 日	時 限	単 位	日 時	場 所
美術解剖学 人とかたち (前期)	前期	宮永 美知代	水	3	2	1月11日(水) 15:00～	美術教育研究室
							地下1階
美術解剖学 人とかたち (後期)	後期	宮永 美知代	水	3	2	1月11日(水) 15:00～	美術教育研究室
							地下1階
デザイン概説 I	前期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月11日(水) 13:30～	企画理論研究室
							総合工房棟3階
デザイン概説 II	後期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月11日(水) 13:30～	企画理論研究室
							総合工房棟3階

《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けること。

※面接を受けない場合は失格とし、納入済みの検定料も返却しない。

【授業時間】

上野校地：

1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50

【教室場所】

上野校地：美術学部中央棟 1・2階、総合工房棟B棟

※ 授業時間割・講義内容等は予定であり、科目によっては、曜日・時限等が変更される場合もあるので、入学手続き時に必ず確認すること。この際、履修を許可された科目でも事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、これを取り消すことができる。



交通機関

【JR】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【地下鉄】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 付属図書館
- ⑨ 芸大アートプラザ
- ⑩ 旧芸大美術館
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所

※ 志願者は、下記の金額を締切日までに必ず振り込み、C票は所定の提出用紙に貼付し、他の書類と共に東京藝術大学へ郵送のこと。

検定料振込依頼書[29美術学部科目等履修生(一般)]

切り離して、金融機関に提出してください。

A票				B票				C票			
振込依頼書				振込金受取書				「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書			
(「東京藝術大学」入学試験検定料)				(「東京藝術大学」入学試験検定料)				科目等履修生(一般)			
ご依頼日		志望区分	科目等履修生	平成	年	月	日	志望区分	科目等履修生		
平成 年 月 日		電信扱	手数料	金額	百万	千	円	金額	百万	千	円
振込先		三井住友銀行 東京公務部		¥ 9 8 0 0				友銀行 東京公務部			
預金種目	普通	口座番号	1	<h1>見本</h1> <p>この用紙はホームページ掲載用の見本です。</p> <p>この見本は使用せず、必ず検定料振込依頼書の原本を入手してください。 原本は、募集要項の原本(紙媒体)に含まれています。 ※募集要項の原本を入手する方法については、以下のURLをご確認ください。 http://admissions.geidai.ac.jp/data/request/</p>				東京芸術大学			
受取人	(フリガナ) トウキョウゲイジュツダイガク		友銀行 東京公務部								
受取人	(おなまえ) 国立大学法人 東京芸術大学 様		東京芸術大学								
依頼人	整理番号	志願者氏名	(フリガナ)		友銀行 東京公務部						
(志願者)	(おところ)	(電話)	(フリガナ)		東京芸術大学						
※【取扱金融機関へのお願い】											
1. 5桁の整理番号は、氏名頭部へ連絡											
2. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれ											
3. B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。											
4. 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となります。											
都市銀(ATM等は不可です)											
(取扱金融機関保管)				(志願者保管)				(願書同封用)			

入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙

(平成29年度 美術学部 科目等履修生(一般))

NO		← 大学記入欄 (記入しない)
フリガナ		
氏 名		
自宅電話番号	()
携帯電話番号	()
メールアドレス	@	

※朱線枠内を必ず記入のこと。

銀行振込をした後、返却されたC票を
右の『C票貼付箇所』に貼付すること。

※ C票に銀行の領収印が押印されていることを
必ず確認すること。

押印がない場合は、失格となる。

C 票貼付箇所

※はがれないようにしっかり
糊付けすること。

※銀行の領収印が押印されて
いることを確認すること。